

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶新年明けましておめでとうございます。今年も、新年号として「胸部の最新画像情報」をお届けします。▶佐川論文は肺がんの対策型検診、任意型検診に関わっている人、関わろうとする人には必読の論文です。読影者はどうあるべきか考えさせられます。坂井論文は、様々な最新技術の肺がん検診への応用の可能性についての総説です。今後どのように応用していくのが本邦の実態に適しているのか見極める必要があります。薄田論文は肺腫瘍性病変に対するMRI診断の総論で、楽しく読めると思います。▶その後は症例が続きます。佐藤論文はDiGeorge症候群とEBV感染合併症例が肺結節を生じた報告です。加藤先生にはCAPA症例を紹介してもらいました。COVID-19肺炎のユニークな合併症については是非一読を薦めます。鈴木崇浩先生にはCTガイド下生検時の出血性ショックに対するIVR症例を紹介いただきましたが、生検を施行する先生方には身につまされる思いがあるのでは。鈴木淳志先生にはHIVのIRISとしてのMAC症を紹介いただきました。高田先生には、転移と鑑別を有するPLCHを提示いただきました。PLCHは病期によって顔つきが大きく変わりますよね。山田論文は下肺優位でIPFと鑑別が難しいサルコイドーシスです。CT画像は大変興味深く、必見の価値ありです。何澤先生には結節型肺アミロイドーシス2例を通して稀少な肺アミロイドーシスを説明してもらいました。森川論文はIgG4関連肺疾患の非典型症例で、診断は難しそうですね。戎論文は珍しい緩徐に増大する肺静脈瘤の症例報告です。山口論文は肺がん転移との鑑別が困難であった頸部の神経鞘腫の症例報告です。西山先生には肉腫瘍タイプの胸部SMARCA4欠損腫瘍を紹介いただきました。珍しい腫瘍の典型例ですので是非一読ください。芳賀先生にはcongenital pulmonary venous obstructionによる異常血管の診断における4D-CTの有用性を示していただきました。動画も添付されておりますのでお見逃しなく。川上先生には、術前に心停止という重大な腫瘍随伴症候群を起こした胸腺腫症例で、見逃してはいけないMRI所見を提示いただきました。こうした予期せぬ些細な所見を丁寧に拾い上げる必要がありますね。▶そして最後に石村先生の「今月の症例」です。▶今年もご覧のように盛りだくさんの内容です。じっくり味わってください。栗原泰之

「臨床放射線」第68巻第1号

2023年1月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 44,990 円（本体 40,900 円＋税 10%）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作権者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。